

「マンガ」を用いた移住促進コンテンツ

昨今、各自治体による移住促進PRのプラットフォームやコンテンツはとも多様化している。地方移住を題材にしたテレビ番組「TURNS」「田舎暮らしの本」「ソート」などの雑誌メディアや「Nativ media (https://nativ.media/)」「LOCAL LETTER (https://localletter.jp/)」などのWEBメディアでは日々たくさんコンテンツが発信されている。また、移住者のインタビューなどが代表的であるが、移住後の暮らしや地域の雰囲気など様々な手法で紹介している。しかし、大量のコンテンツがあふれる中で確実にターゲットへ情報を届けるのは非常に難しいともいえる。そこで本誌テーマにも関連する「マンガ」という伝達性の高い手法を用いた移住促進のコンテンツ例をいくつか紹介していきたい。

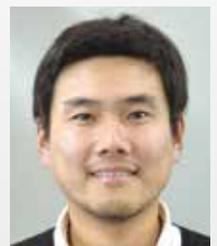
エッセイマンガで表現する、 実体験の移住ライフ

高知県の嶺北地域へ移住し、現在ではキャリアコンサルタントや講座・研修を全国で行うなど幅広く活躍しているヒビノケイコさんの「山カフェ日記」30代、移



山カフェ日記～30代、移住8年。
人生は自分でデザインする～

住8年。人生は自分でデザインする」は、人気の移住エッセイマンガ。やわらかいタッチの4コママンガで表現されており、ヒビノさんの実体験にもとづいて構成されている。移住先での子育てのこと、起業のこと、地域住民との関係など、楽しさだけでなく悩みや課題を包み隠さず紹介している。田舎暮らしの表と裏の部分を見せることによって「田舎パラダイス」という移住希望者の幻想をいい意味で壊してくれる。これから移住を検討している方にとっても



えひめ移住
コンサルティング
板垣 義男

ぜひ手にとってみていただきたい本であるし、すでに移住をされた方にとっても「移住あるある」がふんだんに盛り込まれた作品となっているのでとても楽しめる内容となっている。

愛媛の暮らしやすさをマンガでPR

えひめの暮らしやすさをPRするために愛媛県が2017年から公開しているのがWEBマンガ「ヒメのいるまち (A Place of My Own)」だ。これは、進学や就職を機に県外に出てしまう若者層をターゲットにしたもので、改めて「愛媛で暮らす魅力」を考えてもらうという狙いでUターン移住の促進の一つとして配信している。

愛媛の地元大学に通う女の子が主人公。就職活動や自分の夢で揺れる中で東京に出るか愛媛に残るかの決断を迫られる。「愛媛にいる理由とはなにか」と自問自答しながら答えを探し始めるというストーリー。主人公はまだ知らない愛媛を知るために独自で取材を進めていくのだが、劇中に県内の各地域がたくさん登場する。また、移住希望者のキャラク



ヒメのいるまち ~A Place of My Own



ターが登場することにより客観的な視点で愛媛のことを紹介している。愛媛のこ

とを知らない方も違和感なく読むことができ、移住希望者のみならず、愛媛県内の方でも十分楽しめる大変クオリティの高い内容となっている。全8話の構成で愛媛県オフィシャルページ内のPDFで閲覧することができる。

<https://www.pref.ehime.jp/h12100/manga/hime.html>

実際の移住者による移住マンガブログ

2015年に高知県から伊予市に移住した山内ひろみさんは、子育てをしながらイラストレーターとして活動する傍ら、いよりん移住定住コンシェルジュとして「山内ひろみの移住ブログ(田舎の暮らし方ブログ内)」を運営している。ブログでは、伊予市の名所や地域での暮らしの様子などをマンガで表現している。ご自身の好きなお店やご家族で実際に行ったスポットなども紹介されていて、実際に移住されて感じる日常がとてもリアルに描かれている。このように愛媛県全体よりも市町村単位でのミクロ視点で紹介するコンテンツはより地域性が出やすく親しみやすいといえる。

https://naka.arukakata.com/ehime/iyoblog/ehime_jyo_06/

今回はマンガによる移住促進として、3つの例を紹介したが、全国的にもたくさん事例が存在する。「マンガ」はすでに日本文化として定着し、子どものみならず大人

までの幅広い層から読まれている。また、読み手がその世界観に入り込みやすいので、移住そのものに興味のない方でもその土地の魅力を知ることができる格好の表現方法とも言える。今後は「マンガ」に限らず、アニメや動画など、カジュアルにコミュニケーションできるコンテンツで移住促進を行う事例もさらに増えていくだろう。しかし、どんな手法でもコンテンツそのものの質がとても重要である。移住という枠にとられず、カテゴリーから大胆に飛び出した地方の魅力を伝えるための魅力的なコンテンツが求められる。



山内ひろみの移住ブログ